

科目 体育

5. 授業計画と評価規準

- 1 -

8	○水泳（6月4週目より） ※選択Ⅰと水泳は、男女ごと 隔週で実施する	6	・水泳：クロールの正しい泳法を 理解し、伸びのある動作と安定し たペースで長く泳いだり速く泳い だりすることができる。	し、合理的、計画的な解決に向け て取り組みを工夫するとともに、 自己や仲間の考えたことを表現す ることができる。 ・水泳：効率を高めて泳ぐための 課題を発見し、合理的な解決に向 けて取り組み方を工夫するととも に、自己や仲間の考えたことを表 現することができる。	の違いに応じた課題や挑戦を大切 にしようとしている。 ・水泳：水泳に主体的に取り組む とともに、一人一人の違いに応じ た課題や挑戦を大切にしようとし ている。
9	○体育理論 「運動・スポーツの学び方」	3	・運動、スポーツに必要な体力や 技術、練習方法、トレーニング方 法について理解することができる。	・運動、スポーツに必要な体力や 技術、練習方法、トレーニング方 法について課題を発見し、よりよ い解決に向けて思考し判断すると ともに、自己や仲間の考えたこと を表現することができる。	・運動、スポーツに必要な体力や 技術、練習方法、トレーニング方 法についての学習に自主的に取り 組んでいる。

10	○選択Ⅱ 球技１：バスケットボール 球技２：卓球 武道：柔道 ダンス：現代的なリズムのダ ンス 希望調査により、上記種目か ら男女共修で２種目を設定する	1 4	・球技：各技術の名称や行い方を 理解し、練習やゲームを通して身 につけることができる。 ・柔道：受け身、技の名称や行い 方を理解し、見取り稽古などを通 して身につけること、および攻防 が展開できる ・ダンス：リズムの特徴を強調し て全身で自由に踊ったり、変化と まとまりをつけて仲間と対応した りして踊ることができる。	・球技：状況に応じたボール操作 や連携した動きによってゲームを 展開することができる。チームや 自己の課題を発見し、取り組み方 を工夫するとともに、自己や仲間 の考えたことを表現することがで きる。 ・柔道：自己や仲間の課題を発見 し、合理的、計画的な解決に向け て取り組みを工夫するとともに、 自己や仲間の考えたことを表現す ることができる。 ・ダンス：自己や仲間の課題を発 見し、合理的、計画的な解決に向 けて取り組みを工夫するととも に、自己や仲間の考えたことを表 現することができる。	・球技：球技に主体的に取り組む とともにフェアなプレイを大切に しようとし、互いに助け合い高め 合おうとしている。 ・柔道：柔道に主体的に取り組む とともに、相手を尊重し、礼法など の伝統的な行動の仕方や一人一人 の違いに応じた課題や挑戦を大切 にしようとしている。 ・ダンス：ダンスに主体的に取り 組むとともに、互いに共感し高め 合おうとし、一人一人の違いに応 じた表現や役割を大切にしよう としている。
11					
12					
1	○選択Ⅲ 器械運動：マット運動 球技１：バレーボール 球技２：バドミントン ダンス：現代的なリズムのダ ンス 希望調査により、上記種目か ら男女共修で２種目を設定する	1 3	・マット運動：回転系、技巧系の 基本的な技を滑らかに安定して行 うこと、条件を変えた技や発展技 を行うこと、およびそれらを構成 し演技することができる。 ・球技：各技術の名称や行い方を 理解し、練習やゲームを通して身 につけることができる。 ・ダンス：リズムの特徴を強調し て全身で自由に踊ったり、変化と まとまりをつけて仲間と対応した りして踊ることができる。	・マット運動：自己や仲間の課題 を発見し、合理的、計画的な解決 に向けて取り組みを工夫するとと もに、自己や仲間の考えたことを 表現することができる。 ・球技：状況に応じたボール（羽） 操作や連携した動きによってゲー ムを展開することができる。チー ムや自己の課題を発見し、取り組 み方を工夫するとともに、自己や 仲間の考えたことを表現すること ができる。 ・ダンス：自己や仲間の課題を発 見し、合理的、計画的な解決に向 けて取り組みを工夫するとともに、 自己や仲間の考えたことを表現す ることができる。	・マット運動：マット運動に主体 的に取り組むとともに、互いに助 け合い高め合おうとし、一人一人 の違いに応じた課題や挑戦を大切 にしようとしている。 ・球技：球技に主体的に取り組む とともにフェアなプレイを大切に しようとし、互いに助け合い高め 合おうとしている ・ダンス：ダンスに主体的に取り 組むとともに、互いに共感し高め 合おうとし、一人一人の違いに応 じた表現や役割を大切にしよう としている。
2					
3					
		5 4			